

『変動する大地との共生』が洞爺湖有珠山ジオパークの見どころ！



散策路では、間近で大地の変動
を見ることができます

「変動する大地」とは、約11万年前の洞爺湖の誕生にはじまり、繰り返す噴火のたびに变化する地形のことを指しています。地下から上昇してくるマグマは、山を作ったり、地表にしわを寄せたり、ひびを入れたり、長い時間をかけて地形を大きく変え続けてきました。

1910（明治 43）年の噴火では、洞爺湖畔に四十三山ができ、1944-45（昭和 19-20）年には、昭和山が誕生しました。1977（昭和 52）年や2000（平成 12）年の噴火では、断層のずれによって建物がくずれたり、道路がずれってしまうなど、地形の変化は私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

しかし一方で、火山のエネルギーや過去の噴火は、温泉や実り豊かな火砕流台地などを形づくり、この地域ならではの美しい風景を生みだし、私たちの生活を支えてくれるものでもあります。

ジオパークでは、火山防災の学習だけではなく、これらの大地の恵みを見たり、味わったりすることも楽しみの一つです。ジオパーク通信では、これからたくさんのお見どころや取組を紹介する予定です。

春本番、ぜひジオのお見どころスポットで、春を楽しんでみてはいかがでしょうか。



洞爺湖有珠山ジオパークの ジオ×お花見スポット



うすぜんこうじ
有珠善光寺自然公園（伊達市有珠町）

7,000～8,000 年前のある日に起こった有珠山の山崩れ。有珠善光寺自然公園には、この時に流れてきた有珠山の岩がごろごろしています。見どころは、岩の上に根を下ろした立派な木々。桜以外にも牡丹や紫陽花など、季節の花を楽しめる公園です。

国道 37 号線沿いに自然公園の入口があり、無料駐車場もあります。



そうへつ
壮瞥公園（壮瞥町）

洞爺湖周辺でも屈指の絶景が楽しめるポイント。「梅公園」とも呼ばれています。

例年5月上旬～中旬にかけてが梅の見ごろ。花の向こうに洞爺湖・中島・そして羊蹄山が見えることも。

入口は湖畔沿いにありますが、お花見の時期は車が込み合うため、通行には十分ご注意ください。